

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立浜田小学校

校長 松月 雄一

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

浜田小学校では、学校づくりビジョンに掲げた「問題意識や目的意識を大切にし、主体的・能動的に学ぶ子（考える子）」「人権問題を自分ごととして考え、多様性を尊重していきじめや差別を許さない子（やさしい子）」「体を動かす運動を楽しみ、命と健康を大切にする子（つよい子）」をめざす子どもの姿とし、学校・家庭・地域が連携して教育活動の充実を図っています。

これまで学校への支援等で協力してくださった「はまだっ子応援団」としての学習体験活動支援・学習支援ボランティアの募集や運営、また、学校運営の評価をしていただく組織としてコミュニティスクール(学校運営協議会)を位置づけています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①学習体験・学習支援の推進

【読書活動推進】

毎週水曜日を「朝読書」の日とし、地域の方に各クラス年間6回の読み聞かせ支援をしていただきました。今年度は、はまだっ子応援団の呼びかけに応じてくださった3人の方が加わり、読み聞かせに来てくださる方が10人となりました。

さまざまなジャンルの本を用意し、子どもたちが楽しめる工夫をしてくださっています。子どもたちは、絵本の世界に没入し、心地よい時間を過ごすことができました。



【学習体験（地域の祭りや行事「舞獅子」）】

南浜田地区の獅子舞保存会の方々にこの地域に昔から伝わる伝統芸能、「富士の巻狩り」と「南浜田舞獅子」のことを教わりました。

祭りに使う、本物のいのししや獅子を見たり、衣装や被り物を着せてもらったりして、古くから伝わる文化を肌で感じるとともに、保存し、継承していく担い手が減っているという大きな課題も知りました。



【学習体験（素材を生かして「木工」）】

4年生の図工科「ギコギコクリエイター」では、はまだっ子応援団（木工支援部隊）の力を借りて、木の素材を活かした工作に取り組みました。地域の方は、子どもたちの思いを聞き取りながら、その子の作りたいものに合わせて、手伝ってくださいました。かかわっていただくことで、子どもたちの意欲がますます向上し、子どもたちの発想をより豊かにすることにつながりました。

地域の方々をゲストティーチャーとし、のこぎりの使い方の指導を受けながら、子どもたちは思い思いの作品を仕上げることができました。



【学習体験（ミシンの使い方）】

5年生の家庭科「ミシンでソーイング」では、ボランティア募集に応えてくれた保護者の皆さんに協力していただきました。子どもにとっては、ミシンの使い方や糸が絡まるといったトラブルや戸惑いなどにすぐに対応してくれる心強い味方でした。



【学習体験（書写指導）】

3年と4年の書写の時間、2人のボランティアの方に支援いただきました。子どもたちの間を回って一人ひとりの様子を見て、ときには声をかけてアドバイスし、ときには子どもの持つ筆に手を添えて一緒に筆を運んで、子どもたちに“折れ”の書き方、コツを教えてくださいました。



【学習体験（英語指導）】

外国語授業のサポートに入っていただきました。ネイティブに近い発音で英語指導教員とデモンストレーションを行ったり、個別に支援をしたりして、児童が英語に親しめるような雰囲気づくりをしてくださいました。



【クラブ活動支援ボランティア】

年間6回行われるクラブ活動の中には、地域の方に支援いただいているものがあります。今年度は、新たに「ボッチャ」も加わり、「グランドゴルフ」「太鼓」「茶道」「手芸」の5つのクラブで、支援していただきました。「手芸」を除く4つのクラブでは、地域

の方が主となって活動を進めています。



【校外活動見守り支援ボランティア】

学校外での活動の際、地域の方が子どもたちの安全のために付き添ってください。活動場所との往復はもちろん、子どもたちが活動している間も温かく声をかけたり、子どもと活動を共にしたりして支援してください。



②地域への貢献活動

【地域行事への児童参加よびかけ】

今年度は、夏祭り、もちつきが行われ、多くの子どもたちが参加しました。

2月には、育成会の行事「模型飛行機を飛ばそう」が企画され、飛行機を作って飛ばすことを楽しんでいました。

【学校の情報発信】

はまだっ子の様子を学校だよりやホームページを通して日々伝えています。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校運営協議会では、学校の取組をご理解いただき、学校運営に関する支援や次年度の方向性について意見を交換していただきました。委員の皆様からは、「はまだっこ運動会」「学校公開」「6年生を送る会」などさまざまな学校行事や授業の参観を通して、感じたことに基づいて具体的な提言をしていただき、それらの意見は、学校をよりよくすることにつながっています。

また、給食を一緒に食べる機会を設け、地域の方たちとのふれあいの時間も作ることができました。子どもたちと話せたことを、とても喜んでくださいました。

さらに、毎日の登下校時には地域の方に見守っていただくことで、児童の安全安心や職員の安全・防災意識を高めることにもつながっています。また、委員のおひとりは、四日市市交通安全指導員も委嘱されています。民生委員にも声をかけ地域をあげて登下校中の子どもたちの見守りを強化してくださっています。



3 今後に向けて

学校運営協議会による「学校評価」では、運動会、学校公開、6年生を送る会の子どもの様子から、主体的に考え、行動できる子に育っていることや子どもたちの成長ぶりを高く評価していただきました。また、若い教員が増える中、学校が一致団結して子どもたちに力をつけようとしていること、教員の指導力が向上していることも感じ取っていただきました。

委員の皆様からいただいた、地域としても子どもたちの成長に前向きにかかわっていきたいという言葉を励みとし、来年度も、各学年で地域との活動を生活・総合的な学習に位置付けて行っていこうと考えています。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立浜田小学校

委員長　大久保　直

学校長　松月　雄一

月	協議会の開催	活　動　内　容
4	第1回学校運営協議会	学校公開 学校づくりビジョン説明と 学校現状把握
5		
6	第2回学校運営協議会	学校公開 学校現状把握
7		
8		
9		
10	第3回学校運営協議会	運動会
11	第4回学校運営協議会	学校公開 全国学力・学習状況調査結果報告 給食試食
12		
1		
2	第5回学校運営協議会	6年生を送る会 学校評価
3		